

2022 年度 部局 FD 活動報告

現代システム科学域・現代システム科学研究科

<p>1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <p>・現代システム科学域・研究科の教務委員会において FD に関する議題を取り上げ、教務委員会全体として、学域・研究科の FD 活動を推進した。</p>		
<p>2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
2023 年 3 月 23 日 （予定）	現代システム科学研究科 FD カンファレンス （研究科連絡会議内で実施予定）	
<p>3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催</p>		
会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第 1 回（*月*日）～について」 「第 2 回…」と記載）	委員の人数
現代システム科学域 教務委員会	学域の FD 活動に関する内容について、課題・情報の共有を行った。毎月第 2 木曜日。	11 名
現代システム科学研究科 教務委員会	研究科の FD 活動に関する内容について、課題・情報の共有を行った。毎月第 1 木曜日。	6 名
<p>4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組（但し、成績 GP 分布関連は次項に）</p> <p>・現代システム科学域 1 年次必修のオムニバス講義 4 科目「情報システムとサステナビリティ」「自然システムとサステナビリティ」「社会システムとサステナビリティ」「人間システムとサステナビリティ」において、授業担当者によるピア授業参観を行い、「サステナビリティ」という学域全体の教育理念について理解を深めた。</p> <p>・後期開講の学域共通科目「知識情報システム学概論」「環境社会システム学概論」「教育福祉学概論」「心理学概論」の 4 科目では、授業の最終回（第 15 回）において、各科目の担当者が対談形式で講義を行うことで、各学類や各教員の専門性のみにとらわれず、科目間のつながりやカリキュラム全体について意識するように促した。</p> <p>・大学院博士前期課程「現代システム科学特別演習 1」「現代システム科学特別演習 2」において、他の教員が指導する大学院生のポスター発表を聞き、異なる専門分野の視点からコメントを行うことにより、自らの研究指導や講義を改善するための機会を提供した。</p>		

・本研究科に在籍中の大学院生に対して「大学院授業内容に関するアンケート」を実施し、大学院授業改善のための参考とした。実施期間：2022年12月12日～2023年2月24日。

5. 成績 GP 分布、GPC データの分析に関連する事柄（必ずご記入ください）

全教員に GPC データを共有し、自身の成績評価について今後の参考とするとともに、評価基準についての意識改善を促した。

とりわけ、学域全体の必修科目「情報システムとサステイナビリティ」「自然システムとサステイナビリティ」「社会システムとサステイナビリティ」「人間システムとサステイナビリティ」の4科目については、GPC の差が大きくなりすぎないように、学域教務委員会で情報を共有し、今後の評価のあり方について検討した。

研究科企画運営会議において、研究科が授業管理をする 2021 年度後期（府大人間社会システム研究科）、2022 年度前期授業（府大、公立大現代システム科学研究科）の GPC 一覧のうち、受講生 15 名以上の科目を重点的に、成績評価の分布の状況が担当教員に事情を確認する必要があるような特別な状況になっている授業はないか、点検を行った。

6. 年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 [実数]（必ずご記入ください）

- ・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 （ 71 ）人
- ・所属内の専任教員の人数 （ 71 ）人

7. その他、追記事項

なし。